全国一般大阪

2023年
5月23日
NO.747

全国一般大阪地方労働組合
大阪市中央区本町橋２－２３
ＴＥＬ　０６－４３０１－４６５５
ＦＡＸ　０６－４３０１－４６５６
発行人　福島憲一
編集人　太田崇晴

2023春闘終盤の闘いを勝利しよう！

第94回大阪地方メーデーに参加！

2023年5月1日、10時から大阪城公園、太陽の広場で第94回大阪地方メーデーが開催された。コロナ禍も少しは落ち着いた感もあり、また晴天にも恵まれ今年は全体で2万人が結集し、大会を盛り上げた。メーデーの歴史を少し振り返ると、日本最初のメーデーは1920年の上野公園（東京）で行われ1万人が結集した。のちに日本の軍国主義化で1935年から1945年までは開催ができずにいた。翌年の1946年、敗戦後の食糧難が深刻化し、民衆が結集しメーデーを開いた。これが現在のメーデーとなっている。大阪では1921年に第1回メーデーが開催され、中之島に5000人が結集した。戦前戦後の混乱期を経て、大阪では1963年の大阪地方メーデー以降、総評大阪地評と大阪同盟が分かれてメーデーを開催していた。その後、様々な協議を経て第58回メーデーは25年振りに2団体が1か所に結集しての開催となった。さらに1989年には連合大阪が結成され、その年の第59回大阪地方メーデーは、大阪城公園に約25万人の労働者が結集した。近年のメーデーは新型コロナウィルスの影響で人が集まることや発声することも制限されたり、WEBの配信などが行われたりして、今後の集会の有りかたに影響がでるかもしれない状況だったが、今年は久しぶりに2万人近くの仲間が集まり、会場は大いに盛り上がった。

今年で94回目となる大阪地方メーデーは、ロシアによるウクライナの侵攻で世界情勢の不安定化、約40年振りの物価高騰、長引くコロナ禍など私たちの生活は一層厳しさを増している。そんな中、全国一般大阪の仲間は約120名の仲間が結集した。メーデー終了後、全国一般大阪独自の春闘解決促進集会を実施した。約12組合支部が春闘の要求・妥結の報告や、職場のとりくみ、現状の報告などを行った。物価高の影響で、食料品や日用品などの大半が値上げをしている中、今春闘こそは物価高以上の賃上げをめざそうと、回答がまだの職場は粘り強く交渉を継続して、全力でとりくみ決着に向けて、一致団結してガンバロウ！で締めくくった。

組合・支部	要求額	要求率	一時金要求	諸要求	回答額	回答率	一時金等	提出回答
永大産業	13,324	5.0	夏季2.5ヶ月	家族手当の充実	2,931	1.20	1.67カ月	3/6
さかえ清掃	19,024	5.0	年間5ヶ月	定年延長				2/27
常陽興業	11,000	2.59	年間5ヶ月	定年延長	4,400	1.04	年間5ヶ月	
ＳＹＣ	16,500	4.04	5.2ヶ月/年	定年延長				
羽曳野委託	16,500	3.40	5.2ヶ月/年	定年延長	1,700	0.35	年間4.6月	4/25
日光	16,500	4.83	5.2ヶ月/年	定年延長				
金岡興業	16,500	4.29	5.2ヶ月/年	定年延長				
河内長野清掃	16,500	6.93	7.0ヶ月/年	定年延長				
エスワイミハラ	16,500		5.2ヶ月/年	定年延長				
和泉委託金楽商事	16,500	5.72	年間5ケ月	定年延長	7,280	2.52	年間3ヶ月	5/8
電子専門学校	16,500	3.71	年間5ヶ月					2/24
内藤証券	22,540	6.0						4/25
ｿﾆｰﾏｰｹﾃｨﾝｸﾞ	16,500	5.53	年間7.8ヶ月					
日本工業試験所	13,500	5.3		家族手当充実	8,000	3.14		
経大生協	16,500	6.69	年間4.5ヶ月					
アイエスケー	12,000	4.93		再雇用見直し	9,000	3.69		4/14
加美電子工業	13,554	4.57			10,054	3.39		3/28
日本シール	13,200	5.6	夏季2.1カ月		8,000	3.07		3/20
ハイウェイ管制	16,500	5.98	年間4.6カ月		10,000	3.62		2/1
サンビー	10,000	2.99	夏季2ヶ月					2/20
前川	11,790	4.70	年間4ヶ月		3,200	1.27	年間3.5月	3/30
言語交流研究所	16,500	5.21			5,183	1.80		4/3
サンプラザ	11,160	5.0						3/9
近畿制動関連	16,500				5,000			4/21
黒川乳業	15,000		夏季30万円		10,000		17万円	
マルカミ物流	16,500		年間5ヶ月		7,000			3/22
都島自動車学校	19,663	6.0			5,714	1.70		3/3
興産管理サービス	16,500	8.06						3/15
新関西国際空港	13,500				10,100			2/14
南海グループ	16,500							3/29
ハニューフード	16,500		年間5ヶ月					4/13
ｴﾑｼｰｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ	16,500	4.71			5,000	1.42		4/18
イシイ	16,500							
共立産業	16,500							
平均	15,478	5.15			6,531	2.41		
34組合支部		25組合支部			17組合	13組合		

自治労全国一般評議会
第17回オルグ養成研修会に参加

標記の研修会が5月14～15日にかけて、全水道会館で開催された。2年ぶりの開催（前回はコロナの影響でWEBのみ）で行われたが、今回は原則対面で、各地方労組から35名の仲間が集まった。因みに大阪からは福島委員長、太田書記長、村山青年女性部長が参加をした。

講演の内容としては①「働く者の雇用と権利をめぐる動向と課題」、②「平和をめぐる情勢と課題」、③「自治労と組織統合を振り返り、運動を検証する」、④「春闘の歴史と課題」、⑤「合同労組の歴史と中小・全国一般運動の展望」の5講座を2日間にわたって学習をした。

1日目は①～③を行った。特に②「平和をめぐる情勢と課題」については亀﨑事務局長が講演をし、今の岸田内閣の防衛費増大のことや、自民党が進めている憲法9条のこと、緊急事態条項についての危険性を訴えた。反戦平和をめぐる学習会は、青年女性部でも行っており、さらに学習が深まったように思えた。その後、各地方労組の自己紹介があり、各々の地方労組の抱えている問題点を発表して交流を深めた。

2日目の講演として、特に④「春闘の歴史と課題」については福島議長が講演をした。書記局の学習会などで何度か聞いている内容だが、特に過去の春闘の闘い方やスト権のことなど、今とは随分と違っていると改めて認識をした。また、1989年に連合が結成され、それ以降はバブルの崩壊、1995年に日経連が「新時代の日本的経営」を発表して、それ以降、日本の労働者の賃金が上がらない状況が現在まで続いている。まさに「失われた25年」が経過し30年になっている。また連合春闘の問題点や、中小労働者における春闘の今後の課題についても提起して頂き、非常に有意義で勉強になった2日間だった。その他の講演の内容も興味深く聞くことが出来て、レジュメを読むだけでも中身の濃い内容となっていて、価値があるものだと思うので興味のある方は本部まで問い合わせください。

第４回ユニオンスクール「経営分析～財務諸表の見かた」

全国一般大阪　書記　阿久津義徳

５月１０日１８：３０よりＪＡＭ大阪オルガナイザーである狩谷道生氏を講師に迎え、財務諸表の見かたを勉強してきました。勤め先の経営状況などを知るのに最も早い帳票７種のうちの４種（貸借対照表や損益計算書・製造原価報告書・販売費及び一般管理費明細書）を実際の帳票を用いて９０分間（個人的には）とてもわかりやすく説明いただきました。

まず、自分の会社が黒字なのか赤字なのか気になります。そこで用いるのが損益計算書です。まずは粗利と呼ばれる売上総利益、次に人件費などを差し引いた営業利益などがあります。総売上から諸経費を加減させた純損益、つまり一番下にある数字こそが今期の黒字・赤字の数字になります。損益計算書の分析方法が２種類あることに驚きました。

また、今年は黒字、昨年は赤字となれば今現在の会社の傾き（資産）状況がどうなっているのか気になります。そこで現在（年度末）の会社の資産等を知るために用いるのが貸借対照表です。これに関しては３期（年）分あると比較がしやすいと思います。現在の現金預貯金の残高、借金が多いのか少ないのかなど確認ができます。

これらの帳票に出てくる科目（項目）については、より細かい勉強が必要になりますので今後も精進してまいりたいと思います。実際の決算報告書を入手するのは難しいとは思いますが、一従業員として決算書を見る権利はあると思います。すべてするのは難しくので、来年は２ヶ月連続構成でやってほしいなと切に願います。なお、決算書を見る機会があればいつでも要請・召喚してください。

～第２回単組代表者会議に参加をしよう～

＜日時＞　2023 年 5 月 30 日（火）　18 時 30 分
＜場所＞　ＰＬＰ会館４階小Ｂ会議室
（大阪メトロ堺筋線扇町駅又は
ＪＲ環状線天満駅、徒歩３～５分）
＜内容＞　2023 春闘中間総括、夏季闘争の具体化、職場報告など
＜参加者＞　各組合三役

当面のスケジュール

【2023/5】

・5/24(水)	18:30	ｴﾑｼｰｲﾝﾀｰﾅｼｮﾅﾙ支部団交	ドムスインビル４階
	19:00	北大阪地域協議会	全国一般大阪事務所
・5/25(木)	18:30	ユニオンスクール事務局会議	全国一般大阪事務所
・5/26(金)	16:30	市内協幹事会	JAM 西日本会館
	18:30	東南地域協議会	サンビー労組
	19:00	WEB_サンプラザ労組執行委員会	全国一般大阪事務所
・5/27(土)	14:00	NPO 労働と人権サポートセンター第 19 回総会	PLP 会館 4 小 B 会議室
	16:00	全国一般大阪退職者会総会	全国一般大阪会議室
・5/29(月)	18:00	サンプラザ労組団交	サンプラザ本社
・5/30(火)	18:30	第 2 回単組代表者会議	PLP 会館 4 小 B 会議室
・5/31(水)	16:30	近畿労金・会員全体会議	ホテル京阪

【2023/6】

・6/01(木)	19:30	近畿制動関連労組執行委員会	サンクスエア堺
・6/05(月)	18:15	第 4 回五役会議	全国一般大阪事務所
・6/07(水)	13:30	府本部第 9 回執行委員会	PLP 会館 4 階中会議室
	18:30	2023 年度平和人権センター総会	PLP 会館 5 階大会議室
	19:00	近畿制動関連労組団交	東洋ビル貸会議室
・6/08(木)	18:00	和泉委託清掃労組団交	北部リージョンセンター
・6/09(金)	15:00	阪南地域協議会	サンクスエア堺
	18:00	委託連合執行委員会	大野コミュニティ
・6/15(木)	13:30	WEB_全国一般評議会四役会議	自治労会館
・6/16(金)	18:30	青年女性部幹事会	全国一般大阪事務所
・6/17(土)	15:00	自治労近畿地連委託労働者職場交流会	PLP 会館 4 階
・6/19(月)	18:30	第 9 回執行委員会	全国一般大阪会議室
・6/21(水)	16:00	WEB_府本部第 144 回中央委員会	PLP 会館 5 階第会議室
・6/24(土)	15:00	ユニオンおおさか執行委員会	全国一般大阪事務所
	18:00	ユニオンおおさか職場交流会	全国一般大阪会議室
・6/26(月)	18:30	全国一般・公民評行動共同委員会	全国一般大阪事務所
・6/28(水)	19:30	近畿制動関連労組執行委員会	サンクスエア堺
・6/29(木)	18:30	連合大阪労働関係セミナー	エルおおさか本館 7 階

輝け憲法～平和といのちと人権を～2023 集会　に参加

5 月 3 日、「輝け憲法！平和と命と人権と！」おおさか総がかり集会が扇町公園で開催された。5 千名の労働者市民が結集し、全国一般大阪の仲間（18 名）も参加し、改憲 NO！大軍拡・大増税 NO！戦争 NO！の声をあげた。この集会・デモは東京有明公園での集会（2 万 5 千人）と連携して実現された。岸田首相が来年 9 月までの任期中に改憲すると明言、憲法審査会が毎週開かれ、敵基地攻撃能力の保有を明記する安保三文書が閣議決定されるなど、改憲・戦争への動きが強まる中、それを阻止するために開催された重要な取り組みであった。

集会は 14 時より開催され、主催者挨拶のあと、猿田佐世弁護士（立教大講師）のゲストスピーチがあった。猿田氏は 5 月 3 日が自身の結婚記念日であることを紹介しながら、軍拡する国は 80%戦争になる、軍拡しない国は 90%戦争にならないといい、戦争抑止を口実とした軍拡論を一蹴した。また、台湾有事をめぐって戦争の危機にあるにもかかわらず、台湾有事の意味を全く知らない学生が多いとして国民の知らないうちに戦争の危険が迫っている危機的状況を強調するとともに、若い世代の憲法や平和の大切さを工夫して伝える必要性を強く訴えた。集会の途中、文化行事として「アカリトバリ」のライブがあり、福島などの民謡を披露し参加者を励ました。市民アピールでは、南西諸島への自衛隊配備に反対する大阪の会、カジノ問題を考えるおおさかネットワーク、生活と健康を守る会、反核医師の会からのアピールがあり、参加者は全体としてそれを共有した。続いて、立憲民主党・森山ひろゆき議員、日本共産党・宮本たけし議員、社民党・大椿ゆうこ議員、れいわ新選組・大石あきこ議員から連帯の挨拶があった。国会議員はそれぞれ、憲法は権力者を縛るものであるのに国民を縛るものに変えられようとしているとし市民と野党と共同して改憲反対の取り組みを強めることを訴えた。集会の最後に、参加者全員で一斉に「とめよう大軍拡」「いかそう憲法」のポテッカーを掲げアピールし、３コースに分かれてデモ行進した。全国一般大阪の仲間も平和人権センターの仲間とともに、改憲反対のシュプレヒコールをあげながら中崎町までデモ行進した。

地裁・労働員会日程

◇内藤証券労組
・追加申立（61 号）　2021/10/29
・第 4 回調査（34・61 号併合）　2022/1/27
・最終陳述書　2022/12/4
・第 2 回あっせん　2023/3/23（次回 6/13）

◇言語交流研究所労組
・あっせん申請　2022/10/25
・都労委あっせん　2023/3/24（次回 5/19）

◇ユニオンおおさか・マテロックス支部
・不当労働行為救済申立　2019/9/2
・府労委勝利命令　2020/5/10
・会社地裁取消訴訟　2021/6/7
・地裁堺支部弁論和解　2022/2/15
・地裁行訴判決　2022/2/22
（控訴事件 6/23）

◇シークス支部
・解雇撤回労働審判申立　2019/5/14
・地裁最終弁論　2021/12/17
・判決・敗訴　2022/3/28
・控訴・高裁　2022/4/6
・退職金地裁提訴　2022/11/21
・高裁判決（棄却）　2022/11/24
（上告受理申立 12/8）
・シークス退職金弁論　2023/4/14（次回 5/26）

◇EQWEL 支部
・地位確認提訴　2022/6/10
・第 4 回弁論　2023/4/26(次回 6/16)

◇丸文支部
・損害賠償等請求事件提訴　2022/9/15
・第 4 回弁論　2023/4/28(次回 5/26)

◇内藤証券本社支部
・労働審判申立　2022/10/17
・第 2 回弁論　2023/5/12(次回 7/28)

◇三陽支部
・あっせん申請　2023/2/17
・第 1 回あっせん　2023/4/7（次回 5/22）